

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学1年		芸術	音楽	2
教科書			補助教材		
教育芸術社			ボーカロイド教育用Ⅱ for iPad (アルトリコーダー)		

年間指導目標
生涯にわたって音楽を愛好する土壌を作る

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を覚えよう (アルトリコーダーに親しもう)(ギターに親しもう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を覚え、歌えるようにする 楽器の基本的な奏法を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 6年間歌う校歌をしっかりと覚え、愛校心を育むと共に歌う楽しさを味わわせる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> (アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着させる
2学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱にチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り 	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> (アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着・向上させる
3学期		<ul style="list-style-type: none"> 自分なりのメロディーを作曲しよう (アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、音楽を通して自己表現する 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、音楽を通して自己表現することで音楽をより身近なものとする 読譜力と演奏能力を定着・向上させる

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器、ICT機器を用い、実技中心の活動を行う
注意事項	特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学1年		芸術	美術	2
教科書			補助教材		
光村図書『美術1』 38 光村 美術702			ポスターカラー		

年間指導目標
楽しく美術の学習に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	色の性質	絵の具の3原色	ポスターカラーの混色法、着色の仕方を理解する
	後半	レタリング	明朝体、ゴシック体、等	伝える相手と内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫して文字をデザインする。
2学期	前半	自然物からの構成	単純化による個性の強調、デザイン	感じ取ったことや考えたことを基に、絵に表す
	後半	篆刻	自分の名前をデザインし、篆刻で表現	材料や用具を正しく使用し、印の特性を考え、工夫して表す
3学期		鉛筆デッサン	幾何形体（六面体）、等	モチーフの特徴を捉え、美しい形を見いだす。伝える相手と内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫して文字をデザインする。

評価方法	提出作品、制作・授業態度
学習方法	作品制作、作品鑑賞
注意事項	
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート提出

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学2年		芸術	音楽	1
教科書		補助教材			
教育芸術社		(アルトリコーダー)			

年間指導目標
生涯にわたって音楽を愛好する態度を育み、高めていく

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	・(アルトリコーダーに親しもう)(ギターに親しもう) ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付ける。中1での学習を土台に、演奏をより効果的にする工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させ、強化する
	後半	・(アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させ、強化する
2学期	前半	・混声三部合唱にチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り	・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する	・仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
	後半	・(アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着・向上させる
3学期		・音楽史を学んだ上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう	・音楽の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する	・音楽の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む
		・(アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現を深める	・読譜力と演奏能力を定着・向上させる

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器を用い実技中心の活動を行う
注意事項	特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学2年		芸術	美術	1
教科書		補助教材			
光村図書『美術2.3』 38 光村 美術802		色鉛筆			

年間指導目標
楽しく美術の学習に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	想像画	シュールレアリズム手法のオートマティズムを用いる。	アイデアスケッチを繰り返す。
	後半	想像画	実際の事物の形、色彩に留意する一方で想像上の事物を自由にアレンジしてみる。	画集や画像を参考資料として用いる。
2学期	前半	キャラクター（マーク）デザイン	アイデアスケッチ	ご当地に限らずいろいろな地域で描いてみる
	後半	キャラクター（マーク）デザイン	タブロー（完成作）に至る	選択したものに彩色
3学期		鉛筆デッサン	造花使用	比率と立体感、空間間を学ぶ

評価方法	提出作品、制作・授業態度
学習方法	作品制作、作品鑑賞
注意事項	
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート提出

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学3年		芸術	音楽	1
教科書			補助教材		
教育芸術社			(アルトリコーダー)		

年間指導目標
3年間の総まとめを行い、生涯にわたって音楽を愛好する態度の完成を目指す

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ・（アルトリコーダーの基本的な技術を定着させ、表現を工夫しよう）（ギターに親しもう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力と演奏能力を定着させる。高音部譜表以外も読めるように努力する
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・（アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力と演奏能力を定着させる。高音部譜表以外も読めるように努力する
2学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱の表現を高めよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる。これまでの学習を土台により深い表現に挑戦する
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・（アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう）色々な楽器を選択し、器楽アンサンブルに取り組もう ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする。管楽器や打楽器を組み合わせてより多彩なアンサンブルを目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力と演奏能力を高め、色々な楽器で合奏する能力を養い、生涯にわたって音楽を愛好するきっかけ作りを意識する
3学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽史と他の科目の関連性を理解した上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう ・日本及びアジア諸国の音楽に触れ、音楽の世界を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の歴史と人類の歴史の相関性や作品の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の歴史と人類の歴史の相関性や作品の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・（アルトリコーダーもしくはギターの基礎的な技術を生かし、アンサンブルに取り組もう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、アンサンブルをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力と演奏能力を定着・向上させ、他者とのアンサンブルの楽しさを味わわせる

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器、ICT機器を用い、実技中心の活動を行う
注意事項	特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学3年		芸術	美術	1
教科書		補助教材			
光村図書『美術2.3』 38 光村 美術802					

年間指導目標

楽しく美術の学習に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	建物と風景	想像上の建物を描く	遠近法の基礎を講義
	後半	建物と風景	建物と風景を組み合わせる	実在感にこだわらず遠近法の基礎が理解できるよう
2学期	前半	平面構成	実際の事物を元に（デッサンから）。	構成力を養う。
	後半	平面構成	彩色	色彩理論（明度、色相、彩度）をもとに。
3学期		鉛筆デッサン	造花を描く	比率と立体感、空間表現を学ぶ。

評価方法	提出作品、制作・授業態度
学習方法	作品制作、作品鑑賞
注意事項	
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート提出

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校1年		芸術	音楽	2
教科書		補助教材			
教育芸術社		なし			

年間指導目標
中学での学びを生かし、より芸術の深みに触れる

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダー、ギター、ミュージックベルなどの基本的な技術を定着させ、表現を工夫しよう ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力と演奏能力を定着させる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語以外の歌曲に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学での歌唱を土台に、諸外国の音楽に触れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさと、音楽の多様性を感じ取らせる
2学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルにチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな楽器や歌唱を用い、仲間と音楽を作る楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と音楽を作ることの楽しさを味わわせる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語以外の歌曲を歌いこなそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の歌唱を土台に、外国語の歌唱能力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさと、音楽の多様性を感じ取らせる
3学期		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽だけではなく、様々な芸術との関連性を学ぶことで、芸術の価値をより味わおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽だけではなく、美術など様々な芸術との関連性を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽だけではなく、美術など様々な芸術との関連性を学び、音楽以外の芸術にも親しむことで、豊かな人生を行う一助とすることを旨とする

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器、ICT機器を用い、実技中心の活動を行う
注意事項	特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校1年		芸術科	書道	2単位
教科書		補助教材			
教育出版『書道1』		特になし			

年間指導目標

書道の古典の臨書を通して表現の多様性を学び、それに基づいて自己の表現力を培う。芸術を尊ぶ心を養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	書の芸術性、書の美を求めて。楷書の学習。	九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序の鑑賞と臨書。	三種の古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的な用筆法を習得する。
	後半	楷書の学習。	鄭義下碑と牛橛造像記の鑑賞と臨書。	両古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し、その表現方法を習得する。
2学期	前半	行・草・篆書の学習。	蘭亭序の観賞と臨書。 蘭亭十三跋の鑑賞と臨書。 楷書と行書の比較。 篆書と草書の表現学習。	規範となる行書を生み出した王羲之の書道史上の重要性を理解する。趙孟頫の蘭亭序の学習と態度と成果を理解する。
	後半	隸書の学習。	隸書の特徴。曹全碑の鑑賞と臨書。木簡の鑑賞と臨書。	基礎的な隸書の学習により、隸書の特徴を理解し、用筆、運筆、結構法を習得して表現力を高める。
3学期		書道作品制作。	楷書・行書・草書・篆書・隸書・仮名を素材にして、自由に書く。	自分にしか表現できない書作品を制作する。

評価方法	技術的な向上を心がけて意欲的に授業に臨む姿勢を重んずる。書展の鑑賞を通じたレポートなど積極的な取り組みを評価する。作品の提出物による技術面の評価を行う。
学習方法	古典の作品の臨書を中心とし、随時添削指導を行う。
注意事項	古典を正確に模倣する忠実な臨書を行うことは大事であるがそれに固執せず、生徒の個性を尊びそれをより良く開花できるようにすることを心がける。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート課題

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校1年		芸術	美術	2
教科書			補助教材		
日本文教出版『高校生の美術1』 116日文 美1 702					

年間指導目標
造形表現の基本を学びながら、観察、判断力から応用、考察を学ぶ

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	屋内風景	想像上の建物内部を描く	遠近法の基礎を講義
	後半	屋内風景	彩色 建物と庭を組み合わせる	実在感にこだわらず 遠近法の基礎が理解できるよう
2学期	前半	平面構成	色相、彩度、明度に留意した 色彩構成	構成力を養う
	後半	想像画（シュールレアリズム）	アイデアスケッチ	重力、物の大きさに拘らず スケッチしてみる。
3学期		想像画	様々な技法（ドロッピング） （スパッタリング） （カラージュ）	丁寧な塗りを心がける。 完成に向けての描きこみ。

評価方法	提出作品、制作・授業態度
学習方法	作品制作、作品鑑賞
注意事項	
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート提出